



平成 24 年 10 月 30 日

かわら版あんず

第 47 号

発行責任者 福地 季子
〒317-0056 日立市白銀町 2-17-1
TEL. 0294-21-4150

元気出せよ！ペペコンサート開催

ペペ、9月30日
FM日立出演！！



開催経緯 「茨城アジア教育基金」を支える会の国際交流と支援
タイ国 : 1987 年～

児童図書の移動図書館支援と識字教育教材作成
(日本の児童図書に翻訳文貼りつけて持参し寄贈)

郵政省ボランティア貯金配分金助成・・・東北地方中心に 5 6 校に図書館設置

2007 年 識字率 96 パーセントに 支援終結

ラオス国 : 1995 年～ 絵本読み聞かせ、エプロンシアター作成、リズム遊び等のワークショップ

1997 年～2005 年 海外技術研修員として幼稚園教師のべ 15 名受け入れ

2007 年首都ビエンチャン ドンカムサーン教員養成学校附属幼稚園にモデル園舎建設協力

ラオス国と共同で指導教本作成。ビエンチャン中心にワークショップ開催

2009 年 ビエンチャンでは入園児倍増の幼稚園も。

2012 年 ラオス全国 8 校の教員養成大学の先生と幼稚園教師対象にワークショップ開催
民話絵本のラオス国出版に協力

以上のように 17 年にわたりラオスの教育支援をして参りました。

ラオス国教育省が就学前教室《幼稚園や保育園》を重要視するわけ

② 子供の小学校入学率 100 パーセントが国の目標

② 就学前教室に通った子供は小学校を修了する率が高い

③ 就学前教室言語の様々少数民族にとって特に必要

活動は現地に行き 実際に見て 必要なこと、できることを実践します。

ラオスの地方にはまだ教育を受けられない子供が居ります。“ペペコンサート”はもうしばらく支援を継続するためのチャリティ事業です。

さくら祭

フレンドリーあんずが十数人の外国の方と教育プラザで軽い会食をした後、日立のさくら祭の案内をしました。
そのうちのふたりの人に感想をいただきました。

日本の春といえば、何を思い浮かべますか？みんなは「桜」と答えるでしょう。桜は春を象徴する、日本で最も愛されている花です。4月7～8日にわたしの桜祭りが開催されたとき、私たちとロシアから来た研究室のタチアナさんと一緒に、花見にいきました。今年の桜は寒さの影響で、まだつぼみの状態少し残念です。でもかなりの人出に平和通りが歩行者天国となり、みんな桜の木の下で食事をし、お酒を飲み、雰囲気がとてもいいです。日立風流物、ひたち舞祭などのほか、お土産コーナーや飲食売店や体験コーナーなどが立ち並び、私もタチアナさんもとても楽しかったです。さくらはきれいだと思いますが、なぜ日本人はこんなにも桜を大切に感じているのでしょうか？私の答えは桜と自分たちのはかない人生を似ている、短くても力強く、精一杯きれいな花を咲かせてみせよう。

柯一青

春、日本人はさくらの花を称賛するために果樹園に行きます。これが‘花見祭’です。私が知るところでは、花見は、‘花を称賛する’と翻訳されています。それが、‘花見祭’です。

花見の時期は、大変短いです。花が咲いてから散るまでは7日から10日です。私は、この自然の贈り物を見るのは、ほんのつかの間でした。日本人にとってさくらは、ただの木ではありません。‘さむらい’、‘きもの’、‘すし’と同様、国のシンボルです。日本人は、さくらを限りなく称賛できるのだと思います。さくらの花は、雪ように木を覆っているかのようにみえます。

花びらは、違いがあるようです。ホワイトピンクからダークピンクと。それは、白、ピンクに満ちて、ほんとうに目をひきつけるものです。お酒、お弁当を持ち、さくらの木の下で大きなシートにすわりいのちの意味を考えながら家族や友達と一緒に一日すごす多くの人がいます。大変興味のある進行でした。武者行列やいろいろなダンスグループのショーを含め、多くの参加者によるショーでした。さくらの開花予想サービスやテレビでの予想からこの行事に対する大きな関心が見られます。テレビや新聞でさくらの花の開花状態をわかることができます。南から北まで。そして、短いスノウホワイトの美しさを楽しむのに国内の場所ごと適切時期かを知らされます。さくらは美しさの象徴や命のはかなさのように考えられる。なぜなら花びらははかないほど素晴らしいからです。(英語からの翻訳)

Tatyana Konkova

5月のE T会

今年の5月のE T会は会瀬青少年の家の野外施設でブラジル風のバーベキューをしました。参加者は先生8名、生徒やその家族や友達29名、子供5名でした。講師はブラジル、パラナ州出身の水上 晴江 ローズメイレさん。日本語教室の生徒です。ご主人と、娘さんも手伝いに来てくれました。メインの牛肉、ソーセージなどは水上さんにブラジル人がたくさんいる愛知から安く取り寄せてもらいました。ご主人の貴彰さんはブラジルのいろいろなことに精通し、シュラスコ、すなわち炭火焼きの焼肉を焼くのはプロの腕前。炭も塩も吟味して、もちろん参加者も手伝いますが、始めから終わりまでバーベキューコンロを離れず肉や大ぶりのソーセージ、鳥の心臓を焼いてあつあつを食べさせてくれました。

春江さんによれば彼女の出身地のバーベキューは焼肉とフランスパンとビールくらいのものだそうです。そのほか、ブラジルのご飯、ジャガイモのサラダ、ピナグレッテ(シュラスコのソース)を作りました。

今野 美千子

夏祭り開かれる

7月8日、今年もフレンドリーあんずの夏祭りが、会瀬青少年の家で盛大に行われました。今年は81名の参加でした。日本語教室のOBの方や生徒さんの家族、友達など普段の日本語教室だけではなかなかお話ができない方々と、あちらこちらで談笑が見られ、とても和やかな雰囲気のもと、バーベキューが始まりました。手慣れた感じで火をおこす人、材料を洗ったり切ったりする人、そしてその材料を焼く人と分担しながら、手際よく料理が進んでいきました。

その後、みんなで力を合わせて作った料理に舌鼓をうちながら、各テーブルごとに会食がおこなわれました。会食後は恒例のスイカ割り大会やゲームが行われ、終始、笑顔に包まれ、夏祭りを終えることができました。

黒澤 たい子



平成24年度文化庁日本語教育大会（研修会場；昭和女子大グリーンホール）

“目から鱗”は、この事を言うのでしょうか！？

「日立市に外国人がやってきたから日本語を教えよう、いずれ帰国するんだろうけど……。この教材で、週1回、2時間、これが今までのフレンドリーあんずのみならず日立市日本語教室の実情だったような気がします。

“外国人のニーズを把握し日本語教育を通じて多文化共生社会構築を目指し、外国人能力も活用して地域社会（日立市）の活性化、発展に寄与する。これが、これからの日本語教室のみならず日立市国際交流協議会の進むべき道ではないか？！”と考えさせられた大会でした。

合わせてコーディネータという役職の重要性も痛感しました。もう日立市でもどなたかコーディネータ教育済みと思いますが、万が一、もし未だなら早急に派遣要と考えました。

今回の大会に参加機会を与えて頂いたご関係の皆様に感謝いたします。

大久保 和郎

在住外国人のための防災訓

外国人を対象に、防災訓練が9月9日（日）、神峰町の消防拠点施設で行われました。参加者は在住外国人、国際交流ボランティアの40人ぐらいの参加で、10時から行われました。

英語の通訳を、主に、中国語の通訳の協力もあり、理解し易かったのではないかと感じました。

- ① 講義：最初に、東日本大震災の市内の被災の様子、地震、津波に対する備えについてのお話があり、それから、机を離れての実体験に入りました。
- ② 避難訓練：地震がおこりました。まず、テーブルの下に隠れ、それから、ヘルメットをかぶり、誘導者に従い速やかに階段をおり、建屋の外にでました。（誘導者がいない時、勇気をもって、先導できる方も必要、大事）
- ③ 消化訓練：多くの外国人が消化器を使って、実体験をしました。火元の周囲から噴射させていくということも解りました。
- ④ 煙体験：消防署に設置してある、煙の充満した部屋を2人一組で壁伝いに、手さぐりで、部屋を脱出しました。口を覆い、低姿勢で暗闇の中を出口までたどり着くのは、大変なことでしたが、私もノイさんと実体験できました。

約2時間の訓練でしたが、この実体験は、災害に直面したときは、なにかしら、役に立つのではと、感じました。今回の防災訓練はとて有意味な防災訓練でした。日立市内には、1360人も在留外国人がいるそうなので、次のチャンスには、もっとたくさんの方が、体験される事をお勧めします。

大内 久代



《日立国際交流協議会の活動について》

アメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市と姉妹都市提携30周年記念事業

・交流提携30周年記念フレンドシップイベントとして 6月1日に アラバマ大学バーミングハム校一行の歓迎パーティーが会瀬交流センターで、6月2日に記念式典と交流の集いがシビックセンター天球劇場で開催されました。シビックセンターではバーミングハム市長と日立市長のメッセージ交換の式典に続き、中学生の派遣や相互の市民の交流が映像で またフレンドシップキルト展の実行委員長の台坂さんもステージで紹介されました。

・「写真でたどる姉妹都市交流の歩み」は、5月にイトーヨーカドーで開催されましたが、11月の「ひたち国際文化祭り」にも展示されます。

・9月16日～18日にバーミングハム市長一行が来市、市内視察と歓迎レセプションがありました。『人種問題等があった30年前とバーミング市は大きく変わっている』と当時議員だったバーミング市長さんの話でした。



“外国人のための防災訓練”を9月9日に市防災拠点施設で行いました。内容は地震や津波のDVD視聴、日ごろの備蓄品の展示、避難の実際と煙体験、消火器の使い方でした。

国際交流サロンの活用では 7月に3回シリーズで「タイ語で挨拶してみよう」のサロンを開き、定員12名で楽しい交流でした。2月には 「ベトナム語で・・・」のサロンを行います。市報で募集があります。

「外国人向け生活健康無料相談」は今年も国際文化祭り時に、「フレンドシップキルト展」は1月30日からシビックセンターで開催されます。

10月23日～29日は日立市・タウランガ市姉妹都市会議出席のため市長と市関係者、商工会議所がタウランガを訪問します。

国際理解を更に深め共に住みやすい社会への活動を充実させていきたいものです。

福地 季子

私たちの故郷

中国の潍坊市は私たちの故郷です。山東半島の中部に位置して南が泰沂山脉に沿って、北が渤海に臨んでいます。15859 平方キロの土地に 800 万人が住んでいます。

潍坊の四季がはっきりしています。春と秋は涼しくて住み易いので冬と夏より皆に好まれています。中国の北部とはいえ、夏は暑いですが、冬は雪が多くて、雪だるまや雪球など冬しかできないことを皆楽しんで遊んでいます。

農業は潍坊の基幹産業です。野菜、西瓜、水蜜桃などは全国的に有名です。毎年、四月、五月に野菜博覧会が開催され、農産物で築かれた大きいバイナッブルなどのモデルが展示してあります。

雲門山、青雲山は潍坊にある二つの綺麗な山です。雲門山の高さは 421 メートルで高くないけど、山頂から雲海が見えます。大きい寿字は石に刻まれてあり、それをバックに写真を撮る人が一杯います。青雲山のそばに青雲湖があります。綺麗な湖で船を漕ぐのは楽しいです。

潍坊の芸術といえば、年画と凧があります。潍坊の年画(版画の一種)は全国有名な四つの年画のひとつとして皆に知られています。潍坊では大昔から凧をつくり続けていました。潍坊の凧は地方生活を題材にし、さらに年画の作画技術を加え、自分の特色に形成しました。毎年、国際凧の祭は潍坊で開催されます。凧の都として潍坊の名が世界に広がっています。皆さん、是非遊びに来てください。



青雲湖



野菜博覧会



凧(凧博物館)



北海路



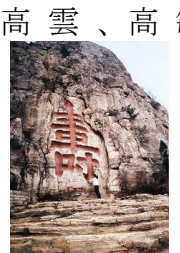
凧広場



潍坊市街



楊家埠の年画



雲門山



十笏園

あしあと



※ 総会

- ・フレンドリーあんず 5/12
- ・「茨城アジア教育基金」を支える会 5/13
- ・日立国際交流協議会 5/22
- ・日立市ボランティアグループ連絡会 5/24
- * 日立さくら祭りへの外国人の案内 4/8
- * 塙山交流センターゴチャッペ市バザー参加 4/29
- * フレンドリーあんず夏祭り 7/8
- * E T 会 (1. ブラジル BBQ, 2. 塩麴料理、ベトナム料理) 隔月 1 回計 3 回
- * 茨城県国際交流ネットワーク会議 7/2
- * 生け花クラブ 原則毎月 1 回 計 5 回
- * 外国人のための防災訓練協力 9/9
- * 日本語教室 通常月 8 回

お知らせと今後の予定

- ・女性センター祭り 運営協力 10/21
- ・日立市男女共同参画社会を進めるつどい 運営協力 (シビックセンター) 10/27
- ・復興茨城県民まつり「国際交流広場」(笠間芸術の森公園) 11/3, 4
- ・元気だせよ! ペペコンサート (ゆうゆう十王ホール) 11/10
- ・茨城大学地域団体懇談会 11/14
- ・ひたち国際文化祭り (シビックセンター) 11/17
- 屋台村、民族文化紹介、いけばな展示、いけばな体験、日本語意見発表に参加
- ・日立市ボランティア連絡交流会 バザー(福祉プラザ) 11/26
- ・フレンドリーあんず年忘れ会 (会瀬交流センター) 12/11

カラーでご覧になりたい方は、下記“フレンドリーあんずホームページ”を参照下さい。

<http://www.net1.jway.ne.jp/friendlyanzu/>

編集後記 今回も、外国の方から投稿を頂き、お国柄が表れている記載や、故郷紹介に日本文化にも似たものがあつたりで興味深いものになっているのではないのでしょうか。